

# 特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会 2021（令和3）年度 通常総会 議案書

- 開催日時 2021年5月20日(木)13時00分～14時45分
- 開催方法 オンライン会議
- 次第
  1. 本総会議事の進め方について
  2. 議長選出
  3. 議事録署名人の選任
  5. 議案審議
    - 議案1 2020年度事業報告・決算・監査報告
    - 議案2 2021年度事業計画・予算
    - 議案3 次年度通常総会開催日
    - 議案4 理事・監事の選任

## 【別紙一覧】

1. 2020年度決算関連 

活動計算書
貸借対照表
財産目録
予算実績対比表
監査報告書
2. 2021年度予算関連 

2021年度予算
----------
3. 2021年度通常総会で選任する理事・監事の候補者名簿
4. ジェネリック医薬品関連事案についての緊急声明
5. Zoom 会議の参加方法

## 1. 本総会議事の進め方について

本総会は現下の新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、内閣府の見解などを確認にしたうえで、インターネットを介したオンライン会議形式で開催することとした。開催要領は以下のとおりとする。

- 開催日時           2021年5月20日(木)13時00分～14時45分
- 運営方法           Zoom 会議システムを使用する。ホストは太田進専務理事とする。
- 議決方法
  - ◇ オンラインでの正会員出席者の表決による。
  - ◇ やむを得ない理由のため出席できない正会員は、定款の第28条2項および3項に定めている書面、ファクシミリ、電磁的方法のいずれかにより以下の要領で表決、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
    - ・ 受付期限：2021年5月19日(水)23時59分まで
    - ・ 受付場所：  当会連絡所  
                  〒413-0232 静岡県伊東市八幡野 1079-67  
                  電話 0557-52-4886   ファクス 0557-55-7642  
                  メール ota.s@ge-da.org

## 2. 議長選出

議場にて立候補または推薦を受けて選出する。

## 3. 成立状況の確認

Zoom 会議ホストの報告を受けて確認する。

## 4. 議事録署名人の選任

議場にて立候補または推薦を受けて選任する。

## 5. 議案審議

### 議案 1 2020 年度事業報告・決算・監査報告

#### 1. 会員

##### ● 会員数

	正会員(個人)	賛助会員
2019 年期末	18	8
2019 年期末退会	0	0
2020 年期首	18	8
2020 年期入会	1	0
2020 年期退会	0	0
2020 年期末	19	8

##### ● 会費納入状況

未納 正会員 1 名

#### 2. 事業報告

##### (1) 全体

###### 1) 会議開催

- 通常総会 2020 年 5 月 21 日 ※非集合開催
- 執行理事会 定例：5 回，臨時：5 回（ジェネリック医薬品の日関連）  
※電話会議 1 回，Zoom 会議 9 回

###### 2) 活動の基本方針

ジェネリック普及率 80%に近づきつつある状況で、NPO 法人としての GEDA にふさわしい活動を展開していく。

##### (2) 委員会

###### 1) ジェネリック医薬品品質・情報委員会(戸島洋一委員長)

① ジェネリック医薬品の品質に対する信頼性の確保は、厚生労働省が進めるジェネリック医薬品の使用促進策の柱としております。このため平成 20 年（2008 年）国立医薬品食品衛生研究所に「ジェネリック医薬品品質情報検討会」が組織され、文献調査、医薬品医療機器総合機構後発医薬品相談受付状況などからジェネリック医薬品、バイオシミラー製品の品質等について検討され、その結果が公表されております。2020 年度もこの「ジェネリック医薬品品質情報検

討会（座長合田幸広 国立医薬品食品衛生研究所所長）」が2020年10月と2021年2月に開催され、会議に渡邊理理事長が出席され意見具申を行った。

② 2020年12月、小林化工（株）が製造販売する抗真菌剤イトラコナゾール錠に睡眠導入剤が混入し、これを服用した患者が死亡2名、健康被害（215症例）が発生した事案について、ジェネリック医薬品の信頼を大きく棄損するとして、12月22日に開催した「ジェネリック医薬品の日制定記念講演会」において理事長名にて緊急声明を発出した。

③ 2020年度活動方針に掲げた、ジェネリック医薬品品質情報検討会の結果について会員、医療関係者、患者へのフィードバックは未実施となった。

## 2) 医療セミナー委員会(福生吉裕委員長)

2020年度は年に二回医療セミナー（エニグマ症例検討会）を開催する予定だったが、コロナ禍の影響でいずれも中止となった。

## 3) 広報委員会(太田進委員長代行)

- ホームページ

新規記事掲載:9件

- ジェネリック医薬品関連事案についての緊急声明を掲載した。

- 出版

GEDA年報2020は、主な掲載内容を当初予定していた2020年度総会記念行事が中止となったため、2020年12月22日に開催した「ジェネリック医薬品の日制定記念講演会」のに切り替えたため、2020年度中の発行ができなかった。

- メディア掲載

「ジェネリック医薬品の日制定記念講演会」について2件報道された。

- 日刊薬業：当日の内容
- 月刊ジェネリック：開催案内
- 「健保ニュース」(健康保険組合連合会機関紙)：当日の内容掲載
- 「ジェネリック医薬品の日」にちなみオリジナル記念切手を3種類制作し、「ジェネリック医薬品の日制定記念講演会」配布した。



## 4) 会員増強対策委員会(太田進委員長)

新規に正会員が1名加入された。

5) 公開講座委員会(中田素生委員長)

2020年度は講演会を以下のとおり4回開催した。

4/16 静岡市清水区薬剤師会講演：コロナウイルス感染症により中止

7/9 名古屋市南区さくら高齢者サロン：参加者25人高齢者

7/11 名古屋市西区薬剤師会講演：コロナウイルス感染症により中止

9/9 名古屋市中区橘学区高齢者サロン：参加者15人高齢者

9/12 名古屋市北区薬剤師会講演：コロナウイルス感染症により中止

10/13 名古屋市熱田区船方高齢者サロン：中止

11/14 名古屋市北区薬剤師会講演：参加者50名

12/10 三重県桑名市薬剤師会：参加者21名

(3)ジェネリック医薬品の日の取組み

2019年10月29日に日本記念日協会に登録した「ジェネリック医薬品の日」の制定を記念して、2020年12月22日(火)に東京の学士会館210号室にて講演会を、新型コロナウイルス感染対策に万全を期して主催した。

ジェネリック医薬品の日について本記念行事に向けて、会員より下記の寄稿が用意された。

・『12月22日は「ジェネリック医薬品の日」』薬剤,80(5),262-264(2020)

開催に当たっては以下の団体に準備会議への参加および開催後援をいただいた。

日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本保険薬局協会、足立区役所、日本賢人会議所、日本未病総合研究所

当日の参加は下記のとおり。

GEDA	来賓	準備 会議	メーカー	保険者	薬局	病医院	行政	一般	メディア	合計
10	2	15	12	1	1	1	2	9	4	57

当日の内容等は下記のとおり。

「ジェネリック医薬品の日」制定記念講演会

—使用割合80%の節目を迎えて—

2020年12月22日(火) 会場 学士会館・210号室(竹橋) 受付開始 14:00

主 催：NPO法人ジェネリック医薬品協議会(GEDA)

後 援：日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本保険薬局協会、足立区役所、日本賢人会議所、  
日本未病総合研究所

プログラム

14:30 開会の挨拶:

理事長 渡邊善照

14:35~14:50 メッセージ披露

衆議院議員 公明党副代表 石田祝稔様

厚生労働大臣 田村憲久様

衆議院議員 元環境大臣 国民皆保険制度を守る国会議員連盟会長 鴨下一郎様

参議院議員 前厚生労働政務官 自見はなこ様

参議院議員 議員連盟ジェネリック医薬品の将来を考える会事務局次長 本田あきこ様

台湾中日経済文化代表処 駐日代表 謝長廷様

**(第一部) 記念講演**

座長 渡邊善照 渡邊善照

14:55 「「ジェネリック医薬品の日」を真の薬剤師の発展の礎に」

名誉理事長 永井恒司

(代読:渡邊善照)

15:05 「Withコロナ時代のニューノーマル「ジェネリック医薬品の日」制定の役割とその発展」

開催委員長 福生吉裕

15:20(休憩)

**(第二部) (テーマ)各界からの「ジェネリック医薬品の日」の啓発への取り組みと期待**

15:25

ファシリテーター 開催委員長 福生吉裕、サブ 石川康成

1)「ジェネリック医薬品の使用促進～行政の立場から～」 厚生労働省 後発医薬品使用促進専門官  
三浦勲

2)「足立区のジェネリック医薬品普及啓発について」 東京都足立区役所 地域のちから推進部課長 物  
江耕一郎

3)「ジェネリック医薬品使用促進」の取組と「ジェネリック医薬品の日」の啓発について 全国健康保険協  
会(協会けんぽ) 本部企画部企画グループ主任 会津宏幸

4)「ジェネリック医薬品の普及に向けて」 健康保険組合連合会(健保連) 政策部医療診療報酬グルー  
プリーダー 仲川陽

5)「ジェネリック医薬品の日 アイングループの取り組みについて」 アインファーマシーズ(薬局系) 関  
東第二支店エリア長 三田寺美穂

6)「ジェネリック医薬品の日」に関する取り組み クラフト(薬局系) 薬局事業部東京第一ブロック長 牧  
野円

7)「ジェネリック医薬品のお話(アニメーション)」 日本賢人会議所 常務理事・事務局長 小林正博

8)日本未病総合研究所の「ジェネリック医薬品の日」の取り組み 日本未病総合研究所 理事・事務局長  
早乙女和雄

16:55～17:00 祝辞

日本病院薬剤師会会長 木平健治様

17:00～17:10 メッセージ披露

日本医師会 会長 中川俊男様

日本薬剤師会 会長 山本信夫様

全国健康保険協会 理事長 安藤伸樹様

日本ジェネリック製薬協会 会長 澤井光郎様

17:10 閉会の辞

副理事長 花岡一雄

#### (4) その他

##### 1)外部問合せ対応

- 電話 4 件： 一般 1      メディア 2      正会員 1  
ホームページから 1 件(匿名)
- 内容：
  - 一般： 調剤されている薬剤がジェネリックか確認。
  - メディア： 睡眠剤混入問題についての見解
  - 正会員： 供給契約書の例示
  - 匿名： 日医工への抗議文
- GEDA の認知経路： ホームページ 1 件

### 3. 決算

【別紙参照】 活動計算書  
貸借対照表  
財産目録  
予算実績対比表

#### ● はじめに

コロナ禍は本年度のGEDAの活動にも大きな影響を与えた。通常総会と執行理事会は非集合開催となり、会内外の予定行事の多くが中止を余儀なくされた。

一方で昨年度GEDAが制定したジェネリック医薬品の日(以下、GEの日)を記念した取り組みには、当初の見込みを上回る多くの関係者と外部団体の賛同と協力が得られ、2020年12月22日にお披露目を兼ねて開催した制定記念講演会は盛会となった。

こうしたことにより本年度の予算執行は、例年と大きく異なることとなった。期中に補正予算を組み、新型コロナウイルスの影響で不要あるいは削減となった科目の予算を、GEの日関連費用に振り替えることとした。

なお本決算では本年度のGEの日の関連の費用と収益は、これが本年度固有のものなので、経常外に区別して計上している。

#### ● 総合計(経常・経常外合計)

総収益	1,802,590 円
総費用	1,465,503 円
当期正味財産増減額	337,087 円
前期繰越正味財産額	1,626,219 円
次期繰越正味財産額	1,963,306 円

#### ● 経常収益・費用

##### I. 収益

正会員会費	160,000 円
賛助会員会費	1,600,000 円
雑収益	20 円
合計	1,760,020 円

会費徴収合計額は本年度予算より27万円超過した。これには賛助会員1社(20万)と正会員13名の2021年度分の入金が含まれている。



## II. 費用

### (1) 経常費用総額(事業と管理合計)

予算:	2,023,000 円
実績:	<u>979,222 円</u>
予実差	1,043,778 円(予算残)

実績は通常年を大きく下回っている。これは通常総会を非集合開催とし、総会後のイベントも中止としたことが大きい。

### (2) 事業

予算:	1,190,000 円
実績:	<u>196,903 円</u>
予実差	993,097 円(予算残)

#### 【事業別内訳】

##### ① ジェネリック医薬品の普及、およびその研究成果の啓蒙・宣伝・研修・振興等

予算:	1,000,000 円
実績:	<u>95,903 円</u>
予実差	904,097 円(予算残)

費目	予算:円	実績:円
旅費交通費	50,000	58,535
会議費	610,000	11,636
広報宣伝費	100,000	0
諸謝金	30,000	0
印刷製本費	190,000	0
通信運搬費	20,000	25,732
合計	1,000,000	95,903

大幅な予算残は以下の理由による。

- 会議費(予算 61 万, 実績 11,636 円): 補正予算で GE の日記念講演会関連の 56 万を計上したが、決算ではこれを経常外で計上した。エニグマ検討会(5 万)は開催中止となった。
- 印刷製本費(予算 19 万, 実績ゼロ円): 予算の大半を占める年報製作が次年度に持ち越された。掲載企画を 2020 年 5 月のシンポジウムが中止となり、同年 12 月の GE の日記念講演会に変更したため。

- 広報宣伝費(予算 10 万, 実績ゼロ円): GE の日関連(7 万)は無料のメディア(月刊ジェネリック, 日刊薬業)と GEDA のホームページでの掲載にとどめた。ホームページの変更や広報ツールの作成は行わなかった。

② ジェネリック医薬品に関する国・自治体・関係 諸機関への提言活動等

予算: 190,000 円  
 実績: 101,000 円  
 予実差 89,000 円(予算残)

費目	予算:円	実績:円
諸会費	10,000	10,000
旅費交通費	610,000	0
調査研究費	20,000	0
新聞図書費	150,000	91,000
合計	190,000	101,000

- 新聞図書費(予算 15 万, 実績 91,000 円): 年間購読誌を 1 部中止した。図書購入がなかった。
- 調査研究費(予算 2 万, 実績ゼロ円): 有償の活動は行わなかった。
- 旅費交通費(予算 1 万, 実績ゼロ円): 予定していたイベントが中止となった。

③ その他

予算: 0 円  
 実績: 0 円  
 予実差 0 円

(3) 管理

予算: 833,000 円  
 実績: 782,319 円  
 予実差 50,681 円(予算残)

- 印刷製本費(予算5万, 実績 26,250 円): 会議と事務以外に使用する印刷物が少なかった。
- 消耗品費(予算2万, 実績 7,265 円): 使用が少なく概ね在庫品でまかなえた。会議と

事務以外に使用する印刷物が少なかった。

- 広報宣伝費(予算 7 万, 実績 57,884 円): 通常のホームページ運用関連費用などにとどまった。
- 旅費交通費(予算 1 万, 実績ゼロ円): 執行理事会をすべてリモート開催とした。

## ● 経常外収益・費用

### III. 収益

実績: 42,570 円

- GE の日記念切手の会員向け販売(雑収益)

### IV. 費用

実績: 486,281 円

- 補正予算では GE の日記念講演会関連費用を経常費用で計上したため, 予算はゼロ円だった。本決算では当該費用を経常外費用に実績計上している。
- 会議費(補正予算 56 万, 実績 323,741 円): 補正予算に計上していた懇親会は中止した。
- 広報宣伝費(補正予算 7 万, 実績 162,540 円): 記念講演会に協力いただいた外部関係者への記念品もかねて対外宣伝用に GE の日記念切手を製作して配布した。

#### 4. 監査報告

【別紙参照】監査報告書

## 議案 2 2021 年度事業計画・予算

### 1. 会員数（期首）

<u>正会員(個人)</u>	<u>賛助会員</u>
19	8

### 2. 事業計画

#### I. 全体

##### ● 会議

- 通常総会 2021 年 5 月 20 日 ※オンライン会議
- 執行理事会 4～5 回開催 ※すべてオンライン会議
- 各委員会 委員会で決定

##### ● 活動の基本方針

2020 年度は 12 月 22 日に、多くの医療関係者の協力および後援を得て「ジェネリック医薬品の日」制定記念講演会を開催し、一般市民への啓発活動が進められた。また、ジェネリック医薬品数量割合 80%達成を目前にし、一つの節目の年となった。一方でこの間メーカーの製造管理・品質管理における逸脱や度重なる自主回収の事案が発生し、医薬品への信頼を揺るがすとともに市場の混乱を招くという由々しき事態が生じている。そのような中で GEDA は会員数の減少と高齢化に歯止めをかけられず、財政的にも将来的に厳しい局面を迎える恐れがある。

それだけに 2021 年度は医薬品業界および GEDA にとって重要な岐路の年といえる。GEDA を再活性化するためには、「ポスト 80%時代」を見据えながら、中・長期的視点で会員だけでなく外部関係者とも共有できる活動の課題を設定することと、組織と運営の改善を進めることが求められている。

また長引くコロナ禍の社会状況に対応して、GEDA もその活動スタイルを変えていかなければならない。特にオンラインでの情報発信を工夫し充実させることが重要である。そのための環境整備とコンテンツ開発を進めていく。

##### ● 活動課題

本会の設立趣旨および事業目的に沿って展開する。

- 1) ジェネリック医薬品の数量ベース割合 80%達成はゴールではない。医薬品への信頼回復と、国民医療費抑制のためにジェネリック医薬品の価値向上および残薬

問題に取り組み、以下四つのテーマで施策を検討し提言をまとめる。

- ① 医薬品の製造管理・品質管理のあり方
- ② ジェネリック医薬品の金額ベース割合向上。
- ③ バイオシミラーの普及促進
- ④ 残薬問題の解決に向けて

2) 国民のジェネリック医薬品に対する認知度が高まった一方で信頼は揺らいでいる。こうした現状を踏まえて新たな普及・啓発活動を展開する。

- ① 医薬品への信頼回復に資する取り組み
- ② 高齢者など働きかける対象の特性やニーズに応じた取り組みを検討する。
- ③ 使用割合の低い地域の普及促進に取り組む関係者に協力する。

3) ジェネリック医薬品に直接関連するテーマに限らず、国民医療費の抑制方策・国民の健康増進等を検討している法人や団体等との連携および共同イベント等も検討する。

- ① 「ジェネリック医薬品の日」の今後の展開を検討する。
- ② 新たに連携をとれる法人・団体等を具体化する。

4) 会員拡大に目標を持って取り組む。組織の多様性向上のために、従来からのジェネリック医薬品企業以外に、ユーザー側の団体等にも入会および理事就任を働きかける。

5) オンラインでの情報発信の方法を研究し、そのために環境を整備する。

## ● 組織と運営の改善

1) 活動活性化に必要なのは、第一にマンパワーの結集である。そのために執行理事会に集中しがちな活動をあらため、全員参加を目指して各委員会を核とした運営を進める。

- 既設の委員会を廃して、新たに活動の課題に対応した委員会を設置する。

① 施策提言委員会：活動課題1) に対応

- ・現「ジェネリック医薬品品質・情報委員会」を引き継ぐ。
- ・テーマごとに分科会を設ける。

② 普及啓発委員会：活動課題2) に対応

- ・現「広報委員会」と「公開講座委員会」を引き継ぐ。
- ・外部連携委員会と連携する。

③ 外部連携委員会：活動課題3) に対応

- ・当面「ジェネリック医薬品の日」制定記念講演会に協力いただいた組織と

の恒常的連携を目指す。

- ・普及啓発委員会と連携する。

④ 会員拡大委員会：活動課題4）に対応

- ・現「会員増強対策委員会」を引き継ぐ。

⑤ オンライン情報発信委員会：活動課題5）に対応

- ✓ 理事はいずれかの委員会に所属する。理事以外の会員も任意に所属する。
- ✓ 委員長は委員会内で互選する。
- ✓ 執行理事会は各委員会に担当者を配置し、委員会間の連携に対応する。
- ✓ 各委員会の運営は差し支えない限りオンラインまたはメールで行う。ただし状況により集合開催もありうる。

2) いうまでもなく組織運営における理事会の役割は大きい。理事会がマンネリに陥ることなく組織の実状と会員のニーズに即対応していくために、その構成員の新陳代謝は重要である。そのために、理事・監事の選任及びその他の役員（理事長等）の選出方法、任期、資格要件（年齢など）などを見直す。必要な定款変更も行う。

- 次々回の理事及び役員の改選（2023年度）からの適用に向けて検討委員会を設置する。同委員会が改正案を作成し、理事会の承認を得て2022年度の総会で決議する。
- 次回の理事及び役員の改選（2021年度）は、従来のとおり実施する。ただし新型コロナウイルス感染状況によって総会等が集会開催できない場合などは、適切な措置を講ずる。

## II. 委員会

### 【旧委員会】

(1) ジェネリック医薬品品質・情報委員会（戸島洋一委員長）

① 2021年度は引き続き「ジェネリック医薬品品質情報検討会」に渡邊理事長に出席いただき、必要な意見具申を行っていただくとともに、これらの品質情報につき会員、医療関係者、患者らに広く周知できるような方策を検討する。

② ジェネリック医薬品メーカーの小林化工、日医工が承認されていない方法で医薬品を製造し、小林化工が製造した製品では健康被害を引き起こしたことより、薬機法違反で製造（販売）停止処分を受け、ジェネリック医薬品の信頼性が根本から損なわれる事案が発生した。

このことよりジェネリック医薬品の信頼性を回復するため、ジェネリック医薬品企業の法令遵守状況を調査する。

(2) 医療セミナー委員会(福生吉裕委員長)

2021 年度は計画されていない。

(3) 広報委員会(太田進委員長代行)

- ホームページ  
内容充実のための方策を検討する。
- 出版  
前年度から持ち越した GEDA 年報 2020 と本年度年報を発行し、GEDA 主催イベントの記録や会員寄稿などを掲載する。
- ジェネリック医薬品の日のための広報活動  
適宜効果的な広報活動を行う。

(4) 会員増強対策委員会(太田進委員長)

- ⑥ 各委員会等の活動やジェネリック医薬品の日取り組みなどを通じて GEDA を積極的にアピールする。
- ⑦ 幅広く関係各界の団体・企業などにアプローチする。

(5) 公開講座委員会(中田素生委員長)

高齢者講習会のテーマについて検討中だが、2020 年度の不幸な事件からジェネリックについて控えて欲しいとの意見が出され中止せざるを得ない。  
反面、新型コロナウイルス感染症とワクチンについて高齢者にわかりやすい話をして欲しいとの要望が来ている。

【新委員会】

① 施策提言委員会

- ◇ 2021 年度は引き続き「ジェネリック医薬品品質情報検討会」に理事長に出席いただき、必要な意見具申を行っていただくとともに、これらの品質情報につき会員、医療関係者、患者らに広く周知できるような方策を検討する。
- ◇ 先述の 4 つのテーマ別分科会を立ち上げる。
- ◇ 「医薬品の製造管理・品質管理のあり方」分科会については、旧ジェネリック医薬品品質・情報委員会の②の計画を引き継ぐ。

② 普及啓発委員会

- ◇ 講師活動
  - 旧公開講座委員会の計画を引き継ぐ。
- ◇ イベント開催
  - ジェネリック医薬品の日記念行事



- セミナー，パネルディスカッションなど

◇ 広報

- 旧広報委員会の計画を引き継ぐ。

③ 外部連携委員会

◇ ジェネリック医薬品の日記念行事の共同企画・実施

- 去年の「ジェネリック医薬品の日」制定記念講演会に協力いただいた組織と協議する。

◇ 既存連携組織との関係強化と新規連携組織の開拓

- 対象を定め本総会后にコンタクトをとる。

④ 会員拡大委員会

◇ 目標を定める

- 賛助会員： 4 組織
- 正会員： 5 名

◇ 外部連携委員会と連携してアプローチする

⑤ オンライン情報発信委員会

◇ オンライン活用の研究

- オンラインセミナー（ウェビナー）
- ネット用コンテンツ：動画，データなど

### 3. 予算

#### 【別紙参照】 2021 年度予算案

#### ● 編成方針

(1) 新たな広がり様相を呈しているコロナ禍の終息は現時点では見通せない。したがって 2021 年度は下記のような活動制約がありうる。

- ✓ 通常総会, 執行理事会, 委員会その他の機関会議は, 原則非集合, オンラインまたはメール開催
- ✓ GEDA 主催イベントはオンライン開催
- ✓ 外部イベントは中止ないしオンライン開催

しかし現時点では不確実なため, 費用は下記の想定で編成する。

通常総会	イベント 1	イベント 2	外部イベント	執行理事会	各委員会
オンライン 開催	オンライン 開催	集合開催	集合開催	オンライン 開催	オンライン/ メール/集合 開催

(2) 前年および前々年度の経常費用実績は以下のとおり。

	2019 年度	2020 年度
事業費	861,016 円	196,903 円
管理費	1,400,687 円	782,319 円
総額	2,261,703 円	979,222 円

- ◇ 2020 年度は通常総会が非集合開催となり, 総会後のイベントも中止。また外部イベントの中止などから事業費と管理費ともに大幅な減額となり, 経常外収支を加えた収支は 33 万円余りの黒字となった。
- ◇ しかし 2019 年のような通常年では, 総会と総会後のイベントの集合開催で 40~50 万円, これに 2020 年度には実施しなかった 2020 年報制作・有償の広報活動・外部イベントへの参加, 執行理事会の集合開催などを加えると, 経常費用はおよそ 200 万円となる。
- ◇ 今後会員拡大などによる収益増がなく, 会員数減少もないとすると単年度の会費収益総額は約 170 万円なので, 通常年での経常収支は毎年約 30 万円の赤字が見込まれる。そうすると将来的に財政難に陥る恐れがある。
- ◇ したがって引き続き全体的に経費削減に努める。ただし状況変化に対応するため予備費を大目に計上する。
- ◇ 経常外収益・費用は計上しない。

## ● 総合計

総収益	1,425,020 円
総費用	2,168,000 円
当期正味財産増減額	-742,980 円
前期繰越正味財産額	1,963,306 円
次期繰越正味財産額	1,220,326 円

## ● 経常収益・費用

### I. 収益

- 正会員：1名の新規入会を得て総数19名となった。このうち15名の2021年度会費は前年度に計上済みなので、2021年度の正会員の会費収益は残り4名分および前年未納1名分をあわせて25,000円とする。
- 賛助会員：前年度からの変動はないとして総数は8社。このうち1社の2021年度会費は前年度に計上済みなので、2021年度の賛助会員の会費収益は7社分で1,400,000円とする。
- 以上により会費収益の予算総額は1,425,000円とする。
  - ◇ 会計処理のタイミングにかかわらず、現在の会員数に応じた単年度の会費収益総額は、1,695,000円(正会員95,000円、賛助会員160万円)となる。

### II. 費用

#### (1) 事業費用

合計	1,315,000 円
事業①	1,030,000 円
事業②	285,000 円

#### 【事業別内訳】

- ① ジェネリック医薬品の普及およびその研究成果の啓発・宣伝・研修・振興等
  - 会議費
    - ◇ 主催イベント：オンライン1回1万円、集合開催1回12万円
    - ◇ 3委員会：普及啓発、外部連携、オンライン情報発信
      - ✓ 集合開催も想定して1委員会2万円を計上
  - 印刷製本費
    - ◇ 年報：1回20万円。2021年度は2020年版と2021年版の2回（通常は1回）

科目	主な用途	金額:円	前年実績
旅費交通費	集合イベント1回, 講師活動	40,000	58,535
会議費	イベント(オンライン・集合各1回), 3委員会	200,000	11,636
広報宣伝費	ニュースリリース1回, 資材製作	50,000	0
諸謝金	イベント2回	80,000	0
雑費		20,000	0
印刷製本費	年報2回, イベント資料等	500,000	0
通信運搬費		30,000	25,732
消耗品費	イベント等	10,000	0
予備費		100,000	0
合計		1,030,000	95,903

② ジェネリック医薬品に関する国・自治体・関係 諸機関への提言活動等

- 提言等のための調査活動を含む
- 会議費
  - ◇ 委員会：施策提言委員会
    - ✓ 集合開催も想定して2万円を計上

科目	主な用途	金額:円	前年実績
諸会費	GEBS 学会1名	5,000	10,000
雑費		10,000	0
旅費交通費	調査活動	50,000	0
会議費	1委員会	20,000	0
調査研究費	外部イベント	20,000	0
新聞図書費		50,000	91,000
消耗品費		10,000	0
通信運搬費		10,000	0
印刷製本費		10,000	0
諸謝金		0	0
広報宣伝費		0	0
予備費		100,000	0
合計		285,000	101,000

(2) 管理費用

合計 1,235,000 円

- 地代家賃：連絡所移転先の相場等を勘案して減額

- 会議費
  - ◇ 総会，執行理事会はオンライン/メール開催
  - ◇ 委員会：会員拡大
    - ✓ 集合開催も想定して2万円を計上

科目	主な用途	金額:円	前年実績
印刷製本費	総会, 事務資料	30,000	26,250
消耗品費		10,000	7,265
地代家賃		480,000	600,000
通信運搬費	総会	20,000	14,655
雑費		20,000	17,578
旅費交通費	会員拡大, 外部会議	40,000	0
事務用品費		10,000	11,340
会議費	Zoom 料金, 会議運営, 1 委員会	80,000	44,995
広報宣伝費	ネット環境維持	60,000	57,884
交際接待費		0	0
支払手数料		3,000	2,352
予備費		100,000	0
合計		853,000	782,319

### 議案 3 次年度通常総会開催日

2022 年 5 月 26 日（木）

### 議案 4 理事・監事の選任

定款の第 12 条, 第 13 条に基づき, 本総会以降を任期とする新たな理事および監事を, 正会員で 2020 年度理事会の推薦を受けた者およびその他の立候補者から, 本総会前の日時を受け付け期限とした信任投票を行い選任する。

投票は正会員総数の過半数の参加により成立し, 投票参加者総数の過半数の信任を得た者が理事あるいは監事に選任される。

以上